

# スポーツチャンバラ



## 1 「スポーツチャンバラ」とは

手に安全で当たっても痛くない得物(武器)を持って闘う対人競技です。自由に打ち合う中で、気力と敏捷性を養うとともに、武道、格闘技の醍醐味を味わえます。基本から入り、高度な技を身につけます。

## 2 用具

特殊プラスチックの芯に保護材を巻いたソフト剣と、目、耳を保護する軽いマスクを使用します。

60cmの小太刀

100cmの長剣



そのほか槍(ヤリ)や杖(ジョウ)、棒(ボウ)、短剣があります。

安全で、打たれても痛くありません。服装は自由。最近では、芯の代わりに空気の入ったエアソフト剣が普及してきました。

## 3 競技の進め方

- 3分間1本勝負。決勝戦のみ3本勝負。
- 剣落とし、転倒は中止をしない。また、反則ではない。
- 相打ちは両者負け。準々決勝以後は再試合。
- 場外反則は両足が出た時。場外反則2回で負け。
- 長巻(槍、棒、ナギナタ等)の柄(木の部分)が、相手に当たるような危険行為は反則負け



すべて全日本護身道連盟の定めたルールに則して行われます。

頭のとっぺんから足先まで、体のどの部分もねらうことができます。

有効な打突が一本決まれば、それで勝負は終わります。

剣を落としても転倒しても、審判は見てるだけで停めてくれません。逃げるか組み付くか、自分で判断し対処します。

1対1の「対戦」が基本ですが、熟練者に2人~5人でかかっていく「多数掛かり」、多勢が2手に分かれて闘う「合戦」もあります。陣地に立てこもる城方を寄せ手が囲む「城攻め」は、特に子供たちに人気があります。また、大人が小太刀、子供が槍や棒を持って闘う「異種試合」、3人が馬になり、剣を手にした子供を乗せて闘う「騎馬戦」など、会場の事情や参加者の年齢層に合わせて、様々な工夫が試みられています。